

みんなと野党で政権代えよう

3/21
各種



音楽にあわせたコールでアピールする参加者—20日、長野市

若者有志がサウンドデモ 長野 戦争法廃止を訴え

長野県内の若者有志でつくる「僕らが主権者って知らなくて委員会」（通称・ぼくしゅけい）が20日、長野市で戦争法廃止を訴えるサウンドデモを行いました。安保法の施行を前に「民主主義を盾にリベンジしよう」と60人余でアピールしました。

デモ出発前の集会では、参院選挙区の野党統一候補となった杉尾ひでや氏、日本共産党参院比例候補の唐沢ちあきさん、社民党県連合役員も参加し連帯のスピーチを行いました。

21歳の大学生は「僕らにはあきらめない」と訴え。仕事を終えて駆けつけた青年は「傍観者ではなく、主権者としての声を上げていく」と語りました。「SEALDS」の女子学生もスピーチしました。「アベ政権を退陣させよう」「みんなと野党で政権代えよう」などのコールは、音楽と手拍子でリズムをとったり、拳を突き上げます。

男性（24）は「道行く旗を持って参加した山口健太郎さん（30）は拳を突き上げる反応があった」と語りました。かえるネット北信濃からは3人で誘いあって参加。デモは久しぶりという男性は「何としても戦争法は廃止させたい」と。むしろ旗を持って参加した山口健太郎さん（30）は3野党の調印式と共同のテーブル参加後にデモ会場へ。「杉尾候補をこれから市民が押し上げなくちゃ」と語り

松本市から参加した

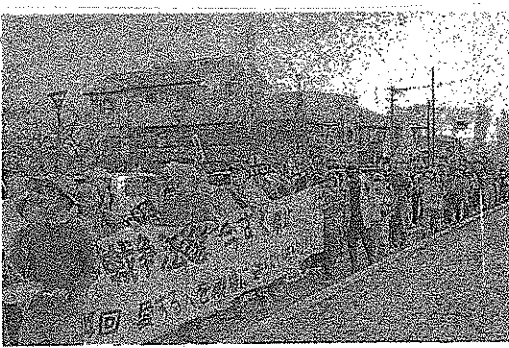
戦争法強行6カ月

安倍政権退陣させる

静岡

戦争法強行成立から6カ月となる19日、静岡県内各地で戦争法廃止を求める集会・パレード、署名宣伝が行われました。

藤枝市では元市長、静岡大学名誉教授、医師、弁護士、会社役員、芸術家など幅広い人が呼びかけ、民主団体と日本共産党、民主党、社民党、新社会党が賛同する集会が行われ、



「戦争法廃止」「自公政権追い詰めよう」とパレードする人たち=19日、静岡県藤枝市

各地で行動

もち、若者一人ひとり声をあげるよう呼びかけていく」と語り、男子高校生が「自分の命を賭すため」と述べた。

米山岳志さん(68)は「安倍政権は全く先のこと考えない政治をしている。2000万署名を集め、退陣を追い込みたい。打楽器を元氣よくたたいていた女性(78)は「立憲主義、民主主義が破壊されたままでは国民生活の全てが脅かされる大問題。参院選で自公政権と補充勢力を少数にしたい」と話していました。

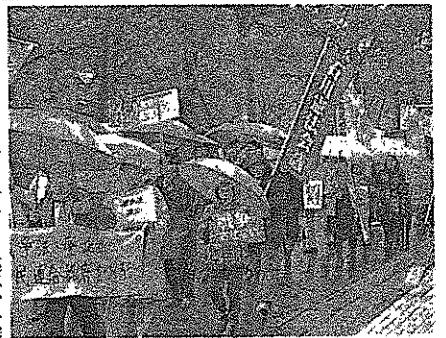
ピーステントを開催

石川

石川県の「戦争法廃止」「憲法改悪阻止」を呼びかける8団体は19日、金沢市のいしかわ四萬記念公園に350人が集まり、「戦争法廃止」「ピーステント」を開催し、集会・デモを行いました。

日本共産党の佐藤正幸県議、亀田りょうすけ参院選挙区候補が参加しました。

出発前の集会で、戦争法廃止を求める青年グループCOFFのメンバーが「19日は戦争法が施行された日、戦争法廃止と立憲主義を取り戻すため、街を行く人々に声を届けていき



雨の中、繁華街に向かってデモ行進する参加者=19日、金沢市

スタンディング宣伝

富山

富山県内では19日、日本共産党や9条の会、市民団体が各地で戦争法廃止の宣伝、署名活動を行いました。

白山市から参加した女性は「戦争法廃止の署名で地域をまわってほしい。今日のデモを力に頑張る」と述べました。

多彩に宣伝署名行動

三重

三重県内各地で19日、戦争法廃止を訴える多彩な宣伝行動が繰り広げられました。

津市では「戦争法廃止」「三重県各界連絡会」と「2000万人署名の会・津」が津駅前で昼と夕方の2回、なごを訴えました。

直伝署名行動を行い、新婦人県本部の西川委員の田中茂二事務局長、日本共産党委員長の大塚隆司委員長らが「戦争する国」づくりは許さない、「野党共闘で安倍自公政権を少数派に追い込もう」と訴えました。

名にとりくみました。「戦争する国」づくり反対共同行動実行委員会」は冷たい雨が降るなか、富山駅南口横で約50人がスタンディング宣伝をしました。

参加者は、「戦争法は絶対廃止」「野党は共闘して選挙に勝利しよう」などとコールしました。参加した嶋田芳枝さん(78)は、「父がビルマ(現在のミャンマー)で戦死し、母とともにさびしい思いをしてきた。戦争は犠牲者を出し悲しさを残すので、絶対にしてはいけません」と話していました。

蕨主義の回復を求める「オールとやま県民連合」準備会・世話人の土井由三元小杉町長が連帯のあいさつをしました。

参加者は、「戦争法は絶対廃止」「野党は共闘して選挙に勝利しよう」などとコールしました。参加した嶋田芳枝さん(78)は、「父がビルマ(現在のミャンマー)で戦死し、母とともにさびしい思いをしてきた。戦争は犠牲者を出し悲しさを残すので、絶対にしてはいけません」と話していました。